

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
事業コード		事務事業名	市民会館管理運営事業	
根拠法令等	蒲郡市民会館条例等	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対し
手 段	市民会館を適切に維持管理することによって
想定する成果	安心で快適な施設利用により、市民の文化および生活の向上を図る。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
平均利用日数	163	171	165
年間入場者数	247,537	219,453	220,000
年間開館日数	308	307	307

④成果指標

成果指標名	①	②
	年間稼働率	1日当たりの入場者数
成果指標の説明	平均利用日数/開館日数×100	入場者数/開館日数

⑤事業の進捗状況（一般 会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	53.7%
	実績	52.9%	55.7%	—
成果指標 ②	計画	—	—	717人
	実績	804人	715人	—
事業費	事業費	131,388	127,215	121,400
	人件費	8,036	3,218	3,182
	(人数)	1.0	0.4	0.4
	合計	139,424	130,433	124,582
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	手数料	16,268	13,909	16,151
	一般財源	123,156	116,524	108,431

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	施設全体の老朽化が目立ち維持管理が難しくなってきたが市内の文化的行事の大半は市民会館で開催されている。
経済効率性	2	2	指定管理者制度が導入され、従来の管理委託料より安価に運営できるようになった。
事務効率性	1	1	指定管理者制度が導入されたが、市が担当する事務量はまったく減っていない。
必要性	2	2	今後は生涯学習センターの機能も強化させるので必要性はさらに高まると思う。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	市民参加はほとんどない。
合計	7 / 15 満点中	7 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	指定管理者が使用料を収入する利用料金制とし、文化公演事業等も指定管理者に委託する検討が必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から指定管理者制度を導入した。 平成17年度から申請書用紙をパソコンから取り出せるようにした。 平成17年度から結婚式業務を廃止し、サービスセンターは解散した。 	指定管理料は109,658千円で昨年度の管理委託料(111,783千円)より213万ほど減額できた。

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> 施設が老朽化しており、今後もますます大規模な改修が必要である。 指定管理者募集の次の時期である平成21年度からは、指定管理者が使用料を収入する利用料金制とし、また、文化公演事業等も業務の中にも含めることとしたい。

⑨平成19年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> 施設整備計画に基づいた施設の改修
--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
事業コード		事務事業名	生涯学習市民大学事業	
根拠法令等	生涯学習推進計画	A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習

②事務事業の内容

対象（受益者）	学ぼうとする市民に
手 段	講座等を提供することによって
想定する成果	誰でも、いつでも、どこでも、何でも学習できる環境整備を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
総合講座	1講座 1,591人参加	1講座 293人参加	1講座 1,200人参加
入門講座	15講座 268人参加	14講座 266人参加	15講座 300人参加
専門講座	2講座 61人参加	2講座 74人参加	2講座 80人参加
出前講座	149件（申込件数）	156件（申込件数）	160件（申込件数）

④成果指標

成果指標名	①	②
	参加率	出席率
成果指標の説明	参加者／定員×100	延受講者／講座定員×講座回数×100

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	79.9%
	実績	97.1%	70.6%	—
成果指標②	計画	—	—	72.2%
	実績	93.3%	53.2%	—
事業費	事業費	3,288	2,499	3,009
	人件費	6,831	3,218	3,182
	(人数)	0.9	0.4	0.4
	合計	10,119	5,717	6,191
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	3,030	830	2,000
	一般財源	7,089	4,887	4,191

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	講座の中身によって参加者数の増減が甚だしいことがある。
経済効率性	1	1	講座を開設するまでの仕事量を考えると経済効率性が良いとは言えない。
事務効率性	1	1	講座を開設するまでの仕事量を考えると事務効率性が良いとは言えない。
必要性	2	2	講座の内容にも流行性があり、それを上手に取り上げることは難しいが、必要性は常にある。
小計	6 /12 満点中	6 /12 満点中	
市民参加度	1	1	講座修了時に常にアンケートを実施し、ニーズの把握に努めている。
合計	7 /15 満点中	7 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	生涯学習推進計画中にある各種講座の開催が財政難のためになかなか進行していない。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座修了時にそれを証明するようなものを作り、生涯学習マイスター制度を作る。 ・ 市民提案型の講座を開設したい。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民会館を暫定的な生涯学習センターとするために、各部屋の改造・改修をしていく。

⑩今後の方向性

~~拡大、充実~~ ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	生涯学習のまちづくり事業		
根拠法令等	生涯学習推進計画	A法令	B条例	C規則	Dその他

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習

②事務事業の内容

対象（受益者）	学ぼうとする市民に
手 段	学校や公民館などの地域施設を利用して、地域主体の学習講座を行うことにより
想定する成果	誰でも、いつでも、どこでも、何でも学習できる環境整備を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績		平成17年度実績		平成18年度計画	
形原小学校	6講座	153人参加	6講座	127人参加	4講座	80人参加
中部中学校	6講座	116人参加	6講座	166人参加	4講座	80人参加
塩津中学校	—		—		4講座	80人参加

④成果指標

成果指標名	①	②
	参加率	1講座当たりの参加者数
成果指標の説明	参加者／定員×100	参加者数／講座数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	
	実績	112.0%	122.0%	—
成果指標 ②	計画	—	—	20人
	実績	22.4人	24.4人	—
事業費	事業費	140	140	150
	人件費	3,214	3,218	3,182
	(人数)	0.4	0.4	0.4
	合計	3,354	3,358	3,332
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	23	24	22
	一般財源	3,331	3,334	3,310

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	全小中学校（20校）での実施を想定している。平成18年度から塩津中学校で実施する。
経済効率性	2	2	事業費が少なくて済み、経済的である。
事務効率性	2	2	開設するまでの打合わせは事務的に少し煩雑である。
必要性	2	2	生涯学習推進計画の「コミュニティースクール整備構想」達成に必要な事業だが、最近、参加者数が伸びない。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	学校施設開放運営委員会の意見に基づいて運営方針を決定している。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	校区内の住民が自主的に学校を利用することが目的だがなかなかその意義が浸透していかない。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度から塩津中学校で開始する。 学校別にテーマを決め、一貫性を持たせるようにした。 	

⑧今後改善すべき点

コミュニティースクール整備の概念をもっと普及しなければならない。そのためには学校、公民館、児童館が有機的な連携をとる必要がある。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ ~~現状維持~~ ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
事業コード		事務事業名	50キロハイク事業	
根拠法令等	なし	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習

②事務事業の内容

対象(受益者)	50kmハイク実行委員会に対して
手段	補助金を支出し、職員が積極的に支援することにより
想定する成果	たくさんの参加者やボランティアに心身の鍛錬と感謝の気持ちを広げる

③事業の概要

(人)

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
応募者/定員	1,081/1,000	962/1,000	1,000/1,000
実行委員数	209	190	200

④成果指標

①

②

成果指標名	参加率	実行委員充足率
成果指標の説明	応募者/定員×100	実行委員数/計画実行委員数×100

⑤事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標①	計画	—	—	100.0%
	実績	108.1%	96.2%	—
成果指標②	計画	—	—	100.0%
	実績	104.5%	95.0%	—
事業費	事業費	95	95	0
	人件費	4,822	6,435	6,365
	(人数)	0.6	0.8	0.8
	合計	4,917	6,530	6,365
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,917	6,530	6,365

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	参加率、実行委員充足率は毎年高い。
経済効率性	3	3	受益者負担（参加料負担）でほとんど実施している事業だが将来的には民間団体に全面委託したい。
事務効率性	1	1	ボランティアの協力はあるが、企画運営、参加者の安全確保など事務局（市側）の負担は大きい。
必要性	2	2	20年以上の歴史があり、経済効率性、市民参加度も高い事業である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	参加者へのアンケート結果を重視し、ボランティアの市民参加も盛んである。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	達成度、経済効率性、事業の必要性、市民参加度も高い事業だが、将来的には民間団体に委託したい。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
毎回、大会終了後、反省会を開催し、そこで出た意見をもとに種々改善している。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ ~~現状維持~~ ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	文化公演事業		
根拠法令等	文化芸術振興基本法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民及び周辺市町の皆さんに
手 段	質の高い芸術を低廉な価格で提供することにより
想定する成果	文化のまち蒲郡を推進する。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
公演数	4公演	3公演	3公演
ジャンル	児童向け劇・伝統芸能・音楽ほか	児童向け音楽・音楽2	児童向けイベント、音楽2
入場者数	5,134人	2,165人	2,750人（見込み）

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	集客率（予定入場者数との充足率） 入場者数／予定入場者数×100	入場者の満足度（内容、料金等） ・内容が良かったというお客の率 ・料金が安かったというお客の率

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	—
	実績	106.0%	74.7%	—
成果指標 ②	計画	—	—	—
	実績	90.8%	89.3%	—
事業費	事業費	9,232	7,259	6,285
	人件費	5,625	3,218	3,182
	(人数)	0.7	0.4	0.4
	合計	14,857	10,477	9,467
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	5,212	7,268	6,050
	一般財源	9,645	3,209	3,417

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	平成16年度は市制50周年記念事業で小中学校、文化協会などの協力を得て集客率が上がった。
経済効率性	1	1	文化振興・教育的意味で意義のある事業だが、入場者数をさらに増加する必要がある。
事務効率性	1	1	販売促進に係る事務量・手間は大きいものがある。
必要性	2	2	文化振興・教育的意味で意義のある事業で、市民にとって大いに必要性がある。
小計	6 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	常にお客さんへのアンケートを実施し、それに基づいた企画をやるようにはしている。
合計	7 / 15 満点中	7 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	文化公演の内容によって集客の良し悪しはあるが、お客さんの満足度は高い。市民の期待が大きい事業なので、ニーズを的確に把握して実施していきたい。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
毎回実施するアンケートに基づき事業の企画をしている。	

⑧今後改善すべき点

・指定管理者制度を導入したことを機に、この事業を指定管理者に委託したいと考えている。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ ~~現状維持~~ ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
事業コード		事務事業名	勤労青少年ホーム管理運営事業	
根拠法令等	勤労青少年福祉法等		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	雇用

②事務事業の内容

対象(受益者)	市内在住・在勤の15歳以上30歳未満の勤労青少年に対して
手 段	勤労青少年ホームを積極的に活用していただくことによって
想定する成果	勤労青少年の健全育成及び福祉の増進を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
登録者数	298人	337人	350人
年間開館日数	294日	293日	294日
年間利用者数	15,058人	16,661人	17,000人

④成果指標

成果指標名	①	②
	1日当たりの利用者数	1日当たりの管理運営費
成果指標の説明	年間利用者数/年間開館日数	事業費/年間開館日数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	57.8人
	実績	51.2人	56.9人	—
成果指標 ②	計画	—	—	53
	実績	78	44	—
事業費	事業費	13,963	8,730	15,560
	人件費	8,840	4,022	指定管理者
	(人数)	1.1	0.5	指定管理者
	合計	22,803	12,752	15,560
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	22,803	12,752	15,560

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	勤労青少年ホームの講座も盛んに行われ、クラブ活動等も積極的に行われている。
経済効率性	2	2	清掃委託の回数を減らし、経費節減に努めた。
事務効率性	2	2	平成18年度から指定管理者制度を導入し、事務の効率化を図った。
必要性	2	2	利用者協議会の活動も活発で、勤労青少年の居場所として必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	正規会員以外に賛助会員にも門戸を開放し、地元住民にも親しまれている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	勤労青少年に必要な施設として指定管理者（P&P）と利用者協議会が円滑に協力して運営できるようにさらに指導していきたい。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
指定管理者制度を導入した結果、管理経費の節減が図られた。	3,442,982円

⑧今後改善すべき点

勤労青少年に必要な施設として指定管理者（P&P）と利用者協議会が円滑に協力して運営できるようにさらに指導していきたい。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
事業コード		事務事業名	公民館管理運営事業	
根拠法令等	社会教育法等		A法令	B条例
			C規則	Dその他
			Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習

②事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対して
手 段	身近な公民館で生涯学習の各種講座を提供し、同時にコミュニティーの推進を図ることにより
想定する成果	心豊かな生活と地域の活性化を図る

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
年間利用者数	289,450	283,243	280,000
講座開設数	11,660	11,038	110,000
講座参加者数	161,478	150,924	150,000

④成果指標

成果指標名	①	②
	市民の公民館利用回数	1公民館の平均延べサークル・教室開設数
成果指標の説明	利用者数／市民数 (市民1人の平均利用回数)	サークル・教室開設数／公民館数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	3.5回
	実績	3.6回	3.5回	—
成果指標 ②	計画	—	—	1,000回
	実績	1,060回	1,003回	—
事業費	事業費	27,894	27,901	67,673
	人件費	5,625	4,826	4,774
	(人数)	0.7	0.6	0.6
	合計	33,519	32,727	72,447
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	33,519	32,727	72,447

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	地域に根付いた活動が行われているが、利用者の高齢化が目立つ。若年層の利用促進の工夫を模索している。
経済効率性	1	1	指定管理者に公民館管理運営委員会を指定したが、地元への任意指定であり、経費の節減は図られていない。
事務効率性	1	1	指定管理者に公民館管理運営委員会を指定したが、市側の事務的負担が減ったわけではない。
必要性	2	2	地域住民の重要な活動拠点であり、若年層の取り込みがうまくいけば、さらにその必要性は増す。
小計	6 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	地元住民で組織される公民館運営審議会と管理運営委員会によって円滑に運営されている。
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	地域の生涯学習、コミュニティースクールの拠点として地元住民に利用されているが、さらに幅広い層の利用が望まれる。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
事務効率化のためにOA化を図り、ようやくその成果があがってきた。また、指定管理者制度を導入したことにより、さらに地元住民が自主的・積極的に公民館運営・活動に携われるようになると思う。	

⑧今後改善すべき点

公民館の開館時間は午前9時から午後9時までと長く、現在の職員体制ですべてに対応するには無理がある。指定管理者である公民館管理運営委員会が自主的にサポートできる体制を確立できるように指導したい。
--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】